22 腎不全外科

特　色

当院泌尿器科では昭和51年に血液透析を、昭和56年に腹膜透析を開始しました。昭和60年に腎センターを発足、昭和63年当院第1例目の生体腎移植を施行、平成8年慢性腎臓病教室を開始し、これまで尿潜血、尿蛋白早期より腎不全、腎移植を含めた腎代替療法まで腎疾患全般にわたり取り組んでまいりました。その結果、平成24年4月より腎不全外科（腎臓外科（臓器移植））が開設されました。引き続き、当院泌尿器科と協力して全国レベルの腎臓病治療を提供できるよう努めてまいりますのでよろしくお願いします。

高松赤十字病院腎不全医療沿革

昭和51年	血液透析開始
昭和52年	透析従事者研修実施施設認定
昭和56年	腹膜透析開始
昭和60年	腎センター発足（透析ベット30床と入院病床26床）
昭和63年	当院 第１例目の生体腎移植、透析ベット36床に増床 香川県透析医会発足
平成８年	腎臓病教室開始
平成20年	腎センターと南３病棟の看護単位併合
平成21年	CKD対策委員会発足
平成24年	腎臓外科（臓器移植）開設、院内移植コーディネーター委員会
平成30年	腎センターを腎臓病総合医療センターに改編

学会認定施設等

- 日本腎臓学会専門医制度研修施設
- 日本透析医学会専門医制度に基づく認定施設
- 日本臓器移植ネットワークによる腎臓移植認定施設
- 日本腎臓学会認定　腎臓病療養指導士研修施設

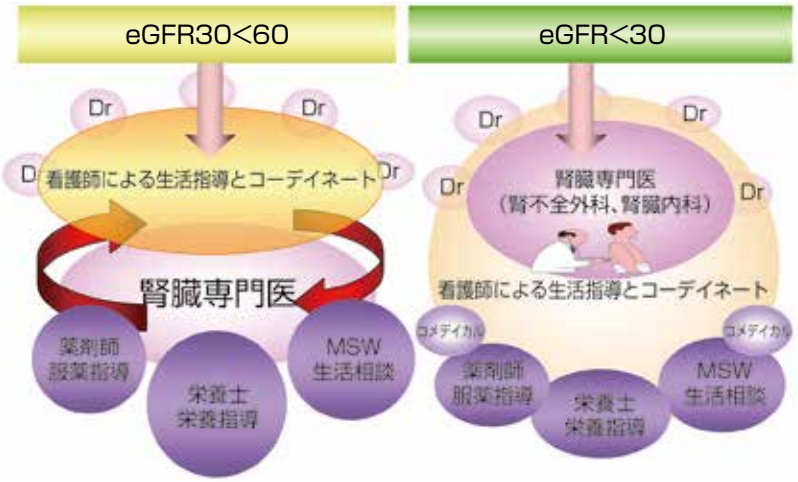
対象疾患

次のような疾患に対し治療を行っています。

尿潜血、尿蛋白：健康診断等で指摘されますが、腎炎を始め、尿路悪性腫瘍、尿路結石等精査を行い適切な加療を提供させていただきます。

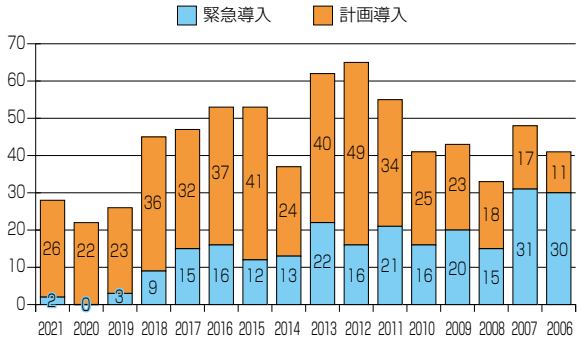
慢性腎臓病（CKD）：当院では次図のようにCKD院内体制を構築しており、チーム医療で対応させていただきます。

CKD院内体制

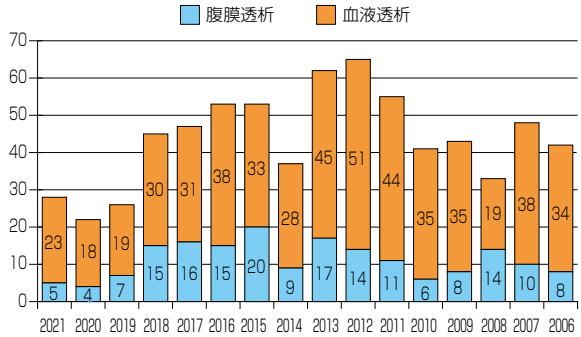


腎不全：急性腎不全、慢性腎不全に対し精査加療が可能です。特に、慢性腎不全に対し透析、腎移植を含めた腎代替療法を行っており、患者さんの社会・家族背景を含めた生活の質が維持できる治療を推進しています。当科では腹膜透析を1981年より開始し、現在、残腎機能温存および患者さんの生命予後向上を目的とし、積極的に腹膜透析を推進しております。腹膜透析施行症例はこれまで300例を超えており、医師および看護師等は腹膜透析導入および合併症治療等経験豊かです。腎移植については、1988年より開始し、これまで54例に施行しました。30例は生体腎移植（血液型不適合生体腎移植7例、透析未施行腎移植２例）で、24例は献腎移植（心停止下19例、脳死下５例）でした。

透析開始症例

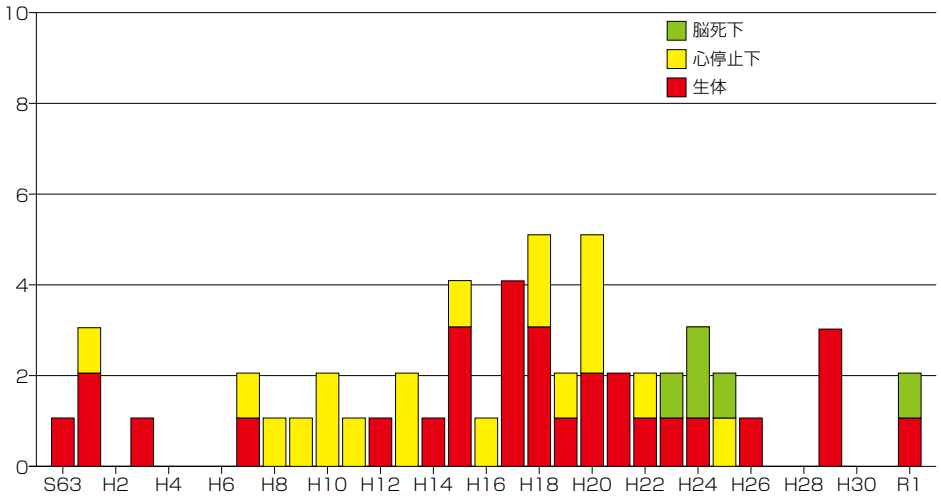


透析導入 672 例（PD 179 例、HD 493 例）



当院CKD対策委員会での取り組みにより透析緊急導入は激減しました。2021年の緊急透析導入２例は、他施設からの当科晩期紹介例です。

年次別当科腎移植症例（54例）



副甲状腺機能亢進症：当科は全国二次性副甲状腺機能亢進症（2HPT）に対するPTX（副甲状腺手術）研究会に所属しています。腎不全症例に合併する2HPTに対し2006年に日本透析医学会より治療ガイドラインが提示されました。2HPTに対し十分な治療を行うことにより患者さんの生命予後の改善が得られます。2007年にカルシウム受容体作動薬が本邦で発売され手術症例は全国的に激減しました。2011年は全国で411例の手術が行われたのみでした。当科ではこれまで60例を超えるPTXを施行しており、最近では年間数例のPTXを施行するのみですが、手術の対応は可能です。

バスキュラーアクセストラブル：バスキュラーアクセスは維持血液透析患者さんの命綱です。月・火・木の午後の腎不全・移植外来、腹膜透析外来で診察および超音波専門検査技師を中心に精査加療をさせていただきます。経皮的内シャント血管拡張術（PTA）は放射線被曝を極力減少させる目的もあり、初回治療以外では超音波ガイド下でのシャントPTAを原則とし木曜日の午前、金曜日の午後に行っています。

手術症例

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
バスキュラーアクセス造設術(自己血管)	13	30	26	40	30
バスキュラーアクセス造設術(人工血管)	9	6	8	—	—
長期留置型カフ付き血液透析カテーテル留置術	109	92	98	109	112
内シャントPTA	227	275	276	281	234
腹膜透析カテーテル留置術	24	32	9	18	20
生体腎移植	3	0	1	0	0
脳死下腎移植	0	0	1	0	0
経皮的腎生検	17	4	3	3	3
副甲状腺手術	2	1	1	2	3

バスキュラーアクセス人工血管造設は診療報酬手術改定により症例数把握が困難となりました。腎移植はCOVID19感染流行のため、希望せず感染収束まで待ちたい症例が増加しました。

透析症例

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
血液透析(透析室)	325	318	333	363	361
血液透析(集中治療病棟)	71	73	64	56	61
腹膜透析	77	65	66	54	61
持続血液濾過透析	64	47	41	35	32
エンドトキシン吸着	12	18	9	7	9
血漿交換	5	10	2	9	10
腹水濾過再静注療法	9	11	7	7	7
血球成分除去療法	1	3	5	1	0

血液内 1
腫瘍内 2
腎臓内 3
内分泌 4
消化内 5
循環器 6
脳神内 7
呼吸内 8
感染症 9
精　神 10
小　児 11
小児外 12
消化外 13
胸乳外 14
脳神外 15
心臓外 16
整形外 17
リ　ハ 18
皮　膚 19
形成外 20
泌尿器 21
腎　外
産婦人 23
眼　科 24
耳　鼻 25
化学療 26
放診断 27
放治療 28
放核医 29
麻　酔 30
歯　科 31
救　急 32
心不全 33
がんゲ 34
健　診 35
病　理 36
薬　剤 37
検　査 38
超音波 39
臨床工 40
看　護 41
血管治療 42
消化器 43
呼吸器 44
生殖医療 45
腎臓病 46
ロボット 47
女性外来 48
緩　和 49
下　肢 50
呼吸ケア 51
NST 52
認知症 53
褥　瘡 54
RRT 55
転倒予防 56
内科専 57
外科専 58

地域の先生方へ

香川県は男性女性ともに本年の報告で健康寿命が改善しました。引き続き、地域連携施設の皆様方とCKD対策に関するさらなる取り組みにより少しでも地域の患者さんの健康に寄与することができればこの上ない喜びですのでCKD早期発見早期治療に対し御協力の程よろしくお願いします。また、香川県内には約2,500名の透析患者さんがおられます。そのうち、100名を超える患者さんが腎移植を希望されています。当院には香川県知事より委嘱された院内ドナーコーディネーターが在職しておりますので臓器移植について不明なところがございましたらご相談ください。